

神奈川県派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	中国語	学科 専攻
派遣先大学 (国)	国立台湾大学 (台湾)		
所属プログラム・学部・研究科	長期派遣交換留学		
報告書提出日	2019 年 3 月 5 日		
留学予定期間	2019 年 2 月～2020 年 1 月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備出願料・宿舍デポジット： 810

(USD) /合計

航空券代： 80000 (円) /合計

ビザ申請関連費： 6000 (円) /合計

その他（到着後の居留ビザ申請）：1000 (元) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

10 月留学合格者発表。2 週間後までに必須書類（中国語での志望理由書など）を派遣先大学へ提出。
12 月後半に派遣先大学から神奈川県に入学許可証が届くが年末年始の影響により受け取れたのは授業が開始してから（1 月 7 日頃）。1 月 11 日までに大学の寮費を指定された銀行に送金。

航空券とビザの手配。

アドバイス：

航空券（オープンチケット）は大学の生協でも購入できましたが 10 万円を超えていたため親と協力してなるべく安いチケットを購入しました。ビザ申請に必要な書類（指定された健康診断書や写真、加入している保険の証明書など）を入学許可証が届いてから手配したためギリギリになってしまいました。健康診断書などは 2 週間ほどかかるので事前に揃えられるものは揃えたほうが良いです。派遣先で使うメールアドレスの通知を切っていたので台湾大学側から来るメールにすぐ気付くことができなかったため、登録したメールアドレスに何かメールが届いていないか随時確認した方が良いでしょう。

1.2. 渡航について

羽田空港から台湾の松山空港は 3 時間ほど空港から寮まで車で 20 分前後

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

入寮手続き：注意事項を確認し署名したあと 600 元デポジットとして支払う
住む部屋の鍵と、もともと部屋に備え付けられているもの（エアコンや鏡、机、椅子、棚など）が記載されているチェック用紙を渡される。そのチェックを済ませカウンターに提出して入寮が完了。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

寮から申請手続きのできる場所までバスで一本です。
午後は 1 時間程度待つこともあるが午前だと 15 分程度で手続きができる。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

健康診断書に不備があったため台湾の病院で受けなおし（2800 元ほどでできる）補足した。結果が出るまで一週間かかったのでそれまで台湾大学の学生証は作れなかったが、留学生の手続きを行う担当者はとても親切で優しく、またメールでも丁寧に案内してくれたためあまり不安に思うこともなかった。プレイスメントテストはクラス発表までに一週間かかる。その間はそれ以外の授業を受けてみて取るか取らないかを判断できる。

一番最初に案内されたオリエンテーションが英語か中国語のどちらかで行われるキャンパスツアーだったが、同日の午後に日本人留学生向けに日本語で行われるツアーがあった。（自分から聞きにいかない限り案内がない）

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

台湾では HSK の受験ができない（行われていない）ため日本に帰ってから受けるつもりなので、それまでに必要な語学力をあげておきたい。また文化故事の授業も取っているので中国や台湾の古くからある物語を学び、それに関連することわざや四字熟語を理解したい。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

リスニングが得意でもスピーキングが苦手だったため、それを伸ばしてから留学に臨めばもっと現地の人や中国大陸から来た留学生と楽しく話せていたかもしれない。

3.3. 今月の学習・研修目標

サークル紹介があるのでそこで興味のあるサークルに入り台湾学生と知り合いたい。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	107-2 学期
月	国際生華語 08:10~10:00 琉球□ 東亜国際関係 13:20~15:10
火	国際生賓用華語 08:10~10:00 国際生華語文化故事 10:20~12:10
水	国際生華語 08:10~10:00 日文翻譯二下 15:30~17:20
木	国際生賓用華語 08:10~10:00 国際生旅遊華語 16:30~18:20
金	国際生華語 08:10~10:00
土	
日	

4.2. 授業について

- ①国際生華語：先生がゆったりとしたスピードで授業を進めてくれていたためとてもいい雰囲気。ほとんど毎授業宿題が出るが多くないためあまり負担ではない。
- ②国際生賓用華語：国際生華語の授業よりスピーキングに重視した授業のため、授業中に先生と会話する際は単語でのやり取りではなくきちんとした文で話さなければならない。また、先生の話すスピードは少し早く、出席を取りつつ生徒をあてて授業を進めていくため予習が重要。
- ③琉球□ 東亜国際関係：沖縄から来た先生が中国語で琉球・沖縄について説明しパワーポイントで授業を進めていく。出席は取らないがグループ（四人一組）での発表で成績をつけるためその発表が重要。台湾学生との共同作業なのでスピーキング能力が身につく。
- ④国際生華語文化故事：中国語で授業が進められる。神話や昔話が好きな人が集まり、少し周りの人たちと話しながらそれぞれの国の神話や物語を理解していく。
- ⑤日文翻譯二下：先生は日本人のため日本語で授業が進んでいく。ただの翻訳ではなく翻訳をする場面やその内容を重視した先生で、日本人学生は少なく、グループに分かれて話し合いながら進める。翻訳のセンスやスキルが楽しく身に着けることができる授業だと感じる。
- ⑥国際生旅遊華語：中国語の簡単な単語や言葉を使って授業を進めてくれるためあまり負担ではない。旅行で使える文や知っておかなければならないことを学べる。

4.3. 予習・復習・自習について

- ①予習は次に学ぶ範囲を事前に教えてくれるのでその指示に従って予習。また新しい単語を学び終えた次の授業には聞き取りテストがあるため復習が必要。
- ②予習は次に学ぶ範囲を事前に教えてくれるのでその指示に従って予習。新しい単語はその意味だけでなくその単語を使った短い文を考えておく。
- ③特になし
- ④授業では本文を読むことがあるので予習では物語を理解する必要はないが読めるようにしておく必要がある。
- ⑤特になし
- ⑥新しい単語を復習

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	学外寮（その他： ）
台湾の気候がつかめず最初は着る服に困った。虫への免疫がないためゴキブリが出た日は退治ができず眠れなかったがすぐに対策をしたためそれ以降虫は見かけていない。寮の共用レンジは開け閉めするたびに虫が出現するため使用しないほうがいい。物価が安いので食べるものには苦労していない。	

5.2. 課外活動について

休日はたまに洗濯物を洗濯したり部屋をきれいにしたり、お風呂のカビをきれいにしたりして過ごす

5.3. 現在までの感想

学習面では自分の言いたいことをきちんと文にしていくことが重要だなと感じる。単語でも聞き取ろうとしてくれる親切な人が多い台湾だからこそ、中国語の上達にはその過程が必要だと感じた。洗濯が生活するうえで少し厄介。日本で洗濯機を使用していた時と違い、寮で洗濯機を使用するとなぜか黒い埃のようなものがついてしまったり洗濯ネットで小分けにして洗濯しないと衣類どうしの毛玉がすごく絡まってしまう。朝ごはんはコンビニで買うより学校の小さな購買などで買ったほうが安いし美味しい。早く生活に慣れてもっと中国語を話すことに自信を持ちたい。

以上

神奈川県派遣交換留学生 近況報告書（5月）

所属	外国語学部	中国語学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	国立台湾大学 (台湾)		
所属プログラム・ 学部・研究科	派遣交換留学・長期		
報告書提出日	2019年5月17日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

言語交換（台湾人が日本語を・日本人が中国語を学ぶための）パートナーと話す時、聞き取れないこともあるためネイティブのスピードに慣れたい。

前は HSK を日本に帰ってから受けるためそれまでに語学力を上げたい、と目標にしていたが HSK の問題は簡体字で書かれるため、留学中に学んだ単語（繁体字）は常に簡体字も一緒に覚えるようにしたい。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

PPT を使った報告はあまり慣れていなかったためスライドが絵のみになってしまったり、工夫が加えられなかった。次回は分かりやすく一文入れたり工夫していきたい。

1.3. 今月の学習・研修目標

その日に学んだものをその日のうちにノートにまとめたり、宿題が多く出た時に効率よく消化できていなかったため気を付けたい。

2. 学修について

2.1. 授業について

①国際生華語 08:10~10:00

授業のスピードが速くなり、教科書の本文はやらないこともある。課が終わる毎にその課に関連した発表があり、一人7分程度のPPTを制作・毎学課3人抽選で決められる。また授業内でのグループワークの機会も沢山あり、その場で意見を聞いてまとめる作業も勉強になる。

②国際生賓用華語 08:10~10:00

宿題をあまり出さないため復習が重要。①の授業と比べて欧米の生徒が多くアメリカでは？日本では？等と生徒に自国のことについて話させることが多い。中間試験では問題用紙に出題されている単語をすぐに口頭試験で使わないといけないので単語への理解・すぐに対応できるような文章力を日々養っていく必要がある。

③琉球與東亞国際関係 13:20~15:10

沖縄に関する基本知識（古琉球の時代はいつか・戦後沖縄は何年からか等）を身に付けておかないと内容を理解するのが困難になる時がある。また、難しい単語をいちいち調べていられないので近くの沖縄人と相談したり、台湾人に教えてもらうようにしている。

④国際生華語文化故事 10:20~12:10

先生がユニークなので授業も面白く、台湾のジョークの言い方や若者言葉が自然と身につく。中間試験は授業内で扱った神話や物語への自分の意見を述べたり学んだ四字熟語の意味を書かなければなら

ないので文章力が必要になる。学期内で必ず一人一回、出されるお題についてPPTを作成し8分以上の発表をしなければならない。

⑤ 日文翻訳二下 15:30~17:20

この授業は中国語の文を日本語に翻訳していくため、難しい中国語単語があると翻訳するまでに時間がかかる。政治経済に関する文だけでなく家電用品の注意書き・ニュース記事の見出し等幅広く翻訳のスキルが身につく。また、日本語と中国語で使われている漢字が一緒でも意味の幅が違ったり、違う意味であったりするのでその時の注意するポイントを重視して授業が進められる。

⑥ 国際生旅遊華語 16:30~18:20

課が終わる毎に小テストがある。中間試験の次の週には20分程度のグループ発表がある。抽選で一緒になったメンバーと台北市以外の観光地を回り、そこの特産品や特別なイベントなどを紹介する。

2.2. 予習・復習・自習について

①時々宿題が多く出されることがあるので復習も兼ねて効率良く消化していきたい。

②その日に学んだ単語を復習

③沖縄や琉球に関しての基本的な知識を覚えておく。

④本文を読むので予習も兼ねて読めるようにしておく必要がある。

⑤授業が進むにつれて長文になって来るので復習が必要。

⑥特になし

2.3. 語学力について

急に質問された時に焦ってしまい文法を気にしないで話してしまう傾向がある。また、分からない単語を聞いて理解してもメモを取らないので忘れてしまい復習のしようがない。ゆっくりでもいいので文法に気を付けて話してみたりその場に合った言い方を身に付け、また授業外でもメモを取る癖をつけていきたい。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居※	学外寮（その他： ）
-----	------------

浴室に小さな2ミリ程度の茶色い蟻が出たが、次の日にすぐに蟻用の殺虫液が買えたのでそれ以降見つかっていない。これからもっと暑くなり湿気もひどくなると思うので換気の方法や虫が来ないための部屋作りをしていきたい。洋服にカビが生えないか不安。

3.2. 課外活動について

日文翻訳の授業で台湾学生と沢山知り合えたので休日は一緒に夜市に出かけたり、彼女たちの日本語劇などもかかさず見に行くようになった。またこの劇では必ず司会者が漫才のような進行をしてくれるので面白く中国語が学べたと感じている

留学する前からメールで案内されていた台大国際祭りにも日本チームとして出店した。高校の時の文化祭のようで楽しかったが準備中ハプニングがあり担当の人と中国語で話し合ったり、中国語で対応するのは難しかった。当日は学生だけでなく付近に住んでいる家族や一般の人たちに中国語で接客するのは自分の中国語がどれほど通用するか分かるいい機会になった。

3.3. 現在までの感想

この学期で日本に帰国する生徒が多く、夏休みの二か月を台湾で過ごすのが少し想像がつかない。台湾大学も他の大学もサマースクールの仕組みとして団体で受ける授業なので、個人的に調べて近くで4週間ほどマンツーマン授業ができる場所に通う予定です。

帰国する友達たちがインターンに応募していると言っていて、台湾でインターンしたいところですが何かスキルが学べてかつ有給であるところがなかなか見つからずに困っています。三年生の夏に就活に生かせるインターンができないとなると帰国してからがとても不安。貿易の仕事についている先輩が今はどこの会社もインターン重視している気がするのと話していたので余計不安。

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（9月）

所属	外国語学部	中国語学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	国立台湾大学 (台湾)		
所属プログラム・ 学部・研究科	派遣交換留学・長期		
報告書提出日	2019年9月17日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

日常会話以外の政治や芸能に関連する中国語の語彙力を増やし、将来仕事などで使える中国語を身に着ける。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

前回と同様に簡単な簡体字単語以外が読み書きできない状態なので、できるだけ繁体字と簡体字はセットで覚えていきたい。

1.3. 今月の学習・研修目標

新学期が始まったので積極的に多くのクラスメイトとコミュニケーションをとり、夏休みで忘れかけていた単語や文法を復習する。

2. 学修について

2.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	国際生華語（8:10~10:00） 国際生生活成語（15:30~17:20）
火	国際生實用華語（8:10~10:00） 日文翻譯一上（10:20~12:10）
水	国際生華語（8:10~10:00） 国際生商務華語（10:20~12:10） 日文翻譯二上（15:30~17:20）
木	国際生實用華語（8:10~10:00） 日本戲劇導讀與多媒體上（15:30~17:20）
金	国際生華語（8:10~10:00）
土	
日	

2.2. 授業について

①国際生華語

会話の節々に冗談を交えてクラスの緊張している雰囲気を和ませてくれる先生なので新学期初回であるにも関わらず授業はスムーズに行われた。先生からの質問に答える際には単語ではなくちゃんとした文で答えることが求められる。

②国際生實用華語

単語や文法よりも先に本文から読みどれほど理解できているかの質問をされるが、先生の話すスピードは速くないため余裕をもって答える時間があると感じる。生徒がなにを学びたいかを重視していたので積極的な態度が求められる。

③国際生生活華語

台湾のことわざや四字熟語、独特の表現などを学ぶことができる。毎回4人グループを組んでその四字熟語がどういう意味なのかを話し合い短文を作る。授業内であてられながら出席確認する。

④日文翻譯一上

日本語から中国語への翻訳。日本語の独特な言い回しを中心にどのように中国語へ訳すかを考える。

⑤国際生商務華語

仕事で中国語を使うようになった時どのような知識が必要になるか、また台湾や中国で働くことになった時どのようなマナーがあるかが学べる。単語や本文は①や②で出てきているものとはジャンルが違い、ビジネス用語を中心に学ぶことができる。

⑥日文翻譯二上

中国語から日本語への翻訳。日本語は名詞・中国語は動詞を好む傾向があることを前提に自然な日本語にするためにグループで話し合って訳していく。

⑦日本戯劇導讀與多媒體上

台湾大学日文科の伝統にもなっている毎年行われる台湾学生のための日本語劇公演にむけて一年かけて準備していく。作品・脚本・衣装・舞台セットはもちろん、公演場所・日時・ポスター・スポンサー依頼等制作作業は全て生徒のみで行われる。日本人留学生は台湾生徒の台本読みの練習やイントネーションを直したり、スポンサー依頼や実際にスポンサー会社へ挨拶をしに行ったりと公演サポートをしていく。

2.3. 予習・復習・自習について

①毎授業宿題が出るためそれを終わらせておく。単語や文法は授業内で聞かれた質問に答えなければならぬので予習復習が必須。

②本文から始まるので本文には目を通しておく。

③先生からの宿題は特にないが予習をしておいたほうがスムーズにグループ討論ができるため予習を心掛けている。

④毎授業宿題が出るので翻訳をしておく。

⑤教科書のようなプリントが束になったものを渡されるため予習復習は心掛ける。

⑥特に宿題はないがその日に学んだ翻訳のポイントをまとめておくと次回がスムーズだと感じる。

⑦台湾学生にいつ何を聞かれても答えられるよう、日本の演劇に関する基本的知識を自分なりにまとめておくことが必要だと感じる。またスポンサー依頼など初めての経験になるはずなので事前に調べておく。

2.4. 語学力について

語学力をあげるためにも積極的に話しかけたり、より長い文を話せるように意識する。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居*	学外寮(その他:)
-----	------------

なるべく日中は暑くてもエアコンに頼らずカーテンや窓・部屋の扉を開けて換気することが重要。湿気がすごいので湿気を好むダニ・ダニを餌とする蜘蛛などの対策になる。

3.2. 課外活動について

新学期ということで部活やサークル紹介があるので参加してみたい。

3.3. 現在までの感想

あと半年しかないので短い期間で自分の語学力をできるだけあげていきたい。

以上

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学科	中国語学科	3	年次
派遣先大学 (国)	国立台湾大学 (台湾)				
所属プログラム・ 学部・研究科	外国語学部中国語学科	履修言語	中国語		
留学期間	2019年2月～2020年1月				
報告書提出日	2020年2月14日				

1. 学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Spring Semester	2月18日 ～6月28日 (18週)	6月16日 ～6月28日	台湾大学へ留学した先輩などの資料を見ながらオンラインで登録。
Fall Semester	9月9日 ～1月10日 (18週)	1月6日 ～1月10日	オンラインにて登録

1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
Spring Semester	国際生華語 (二)	86.4 時間	講義は 50 分×2 となっており月曜日・水曜日・金曜日とある。教科書の本文を飛ばし単語と文法のみで進められるため授業のスピードが速く学期末試験は筆記のテストのみで口頭試験がない。その代わりに一人 8 分程度の PPT (テーマ自由・授業内で取り扱った単語や文法を指定された数以上使う・スライド 20 枚) を制作・発表する。
		1.6(時間/回) × 3(回/週) × 18(週)	
Spring	国際生実用華	57.6 時間	講義は火曜日・木曜日とある。宿題をあまり出さない

Semester	語 (二)	1.6(時間/回) × 2(回/週) × 18(週)	め復習が重要。欧米の生徒が多く、アメリカでは？日本では？等と生徒に自国のことについて話させることが多い。試験では筆記以外に口頭試験があり問題用紙に出題されている単語をすぐに使わなければならないので単語への理解・すぐに対応できるような文章力を日々養っていく必要がある。
Spring Semester	琉球與東亞國際關係	28.8 時間	講義は月曜日にある。先生は沖縄出身の方で授業は全て中国語で進められる。グループでのプレゼンテーションがあり、学期末では中国語か英語で 3000 字程度のレポート提出がある。講義中は沖縄に関する基本知識（古琉球の時代はいつか・戦後沖縄は何年からか等）を身に付けておかないと内容を理解するのが困難になる時がある。また、難しい単語をいちいち調べていられないので近くの沖縄の生徒と相談したり、台湾人に教えてもらうようにしたりしていた。
		1.6(時間/回) × 1(回/週) × 18(週)	
Spring Semester	國際生華語文化故事	28.8 時間	講義は火曜日にある。先生がユニークな方なので台湾のジョークや若者言葉が自然と身につく。学期内で必ず一人一回、出題されるテーマに従い PPT を作成し 8 分以上の発表をする。このプレゼンテーションは成績評価にとっても関わってくると先生自身話しているため多くの生徒は暗記して発表している。授業は先生の計らいにより関連している物語をまとめて紹介してくれるため、毎授業のキーワードを忘れないようにしていた。試験は筆記のみで自分の考えや物語についての感想を述べさせる問題が多かったためある程度の中国語力や文章力が必要だと感じる。
		1.6(時間/回) × 1(回/週) × 18(週)	
Spring Semester	日文翻譯二下	28.8 時間	講義は水曜日にある。グループワークなので協力し合える環境で、外国人が間違いやすい翻訳の間違いを直接説明してあげたり直してあげる機会が多いため自分の日本語理解も深められる。政治経済に関する文章だけでなく家電用品の注意書き・ニュース記事の見出し等幅広く翻訳のスキルが身につく。また、日本語と中国語で使われている漢字が一緒でも意味の幅が違ったり、違う意味であったりするのでその時の注意するポイントも重視して授業が進められる。
		1.6(時間/回) × 1(回/週) × 18(週)	
Spring Semester	國際生旅遊華語	28.8 時間	講義は木曜日にある。課が終わる毎に小テストがあり、中間試験の次の週には 20 分程度のグループ発表がある。抽選で一緒になったメンバーと台北市以外の観光地を回り、その場所の特産品や特別なイベントなどを紹介す
		1.6(時間/回) × 1(回/週)	

		× 18(週)	る。学期末試験は筆記と8分以上のグループ演技。グループ演技では台本を全く見ることができないため早めに準備しセリフを覚えておかなければならない。
Fall Semester	国際生華語(一)	86.4 時間	講義は月曜日・水曜日・金曜日とある。先生は生徒に話させる機会を多く作っており平等に話す機会がある。また授業中では携帯を使ってゲームをすることもあり楽しく文法や単語を学べる。試験は筆記と口頭がある。口頭試験はランダムでお題を引き、それに関する回答を授業中で学んだ単語と文法を使い携帯で録音したものを提出。教科書やメモを見ることができないので日々予習復習が大切だと感じた。
		1.6(時間/回) × 3(回/週) × 18(週)	
Fall Semester	国際生実用華語(一)	57.6 時間	講義は火曜日と木曜日にある。他の授業とは違い教科書がなく講義で使っていたものは劇で使われる台本のようなもので、普段耳にしない単語や四字熟語が多く難しかった。また、センシティブな問題も取り扱って、答えにくいような時に使われる中国語等も学べた。試験は筆記と口頭試験があり、授業中で先生が話した内容を聞かれるため日々の授業でメモは必須だなと感じる。期末試験では筆記以外に、グループに分かれて半年にわたって学んだ単語や文法・四字熟語を用いた10分程度の劇を演じる。この劇はリスニングのテストにもなっているため、自分だけでなくクラス全体で発音等を直していかなければならない。
		1.6(時間/回) × 2(回/週) × 18(週)	
Fall Semester	国際生生活華語	28.8 時間	講義は月曜日にある。四字熟語の意味や成り立ちをまずはグループで話し合いその後先生へと発表。携帯は使用していいと言われているがそれは直接意味を調べていいというわけではなく、わからない単語が出てきた時のみ。挙手して先生の質問に答えれば答えるほど授業評価は高くなる。試験は筆記のみで、穴埋めはもちろん、四字熟語を使った文や四字熟語の意味を説明させるのである程度の中国語文法知識が必要だと感じる。
		1.6(時間/回) × 1(回/週) × 18(週)	
Fall Semester	日文翻譯一上	28.8 時間	講義は火曜日にある。日本語から中国語への翻訳ということもあり、授業中では日本人生徒にどのような時にどのような表現をするのかを聞かれることがあるが先生自身硬いスタイルの授業を好まない人なので気軽に話すことができる。試験は筆記のみで日中・中日翻訳どちらも出題される。授業中で翻訳した文や応用問題も少し出題される。
		1.6(時間/回) × 1(回/週) × 18(週)	

Fall Semester	國際生商務華語	28.8 時間	講義は水曜日にある。教科書はプリントで配布され、時間の都合上できない本文もあるが先生は本文よりも中国文化や伝統的な思想が書かれている短文という部分を重視しているということもあり試験に本文は出題されなかった。単語や文法を使って文章を作らせるのでより単語や文法への理解が求められる。ビジネスで役立つ単語や文法が学べたのはもちろんだが、商談が失敗した時の原因やそれに関わる中国人の考え方などが学べたので将来役立てたいと感じる。
		1.6(時間/回) × 1(回/週) × 18(週)	
Fall Semester	日文翻譯二上	28.8 時間	講義は水曜日にある。日本語から中国語への翻訳で授業はグループワークで進められる。各グループに日本人は一人なので日本語を聞かれた時日本語母語話者として責任をもって説明していかなければならない。試験は授業で取り扱った問題と応用問題を混ぜて出題されるため文章への理解が求められる。また、先生は翻訳する際のセンスを重視しているため一語一句翻訳というより作者や書き手が伝えたいことなどをくみ取る能力が身につく。
		1.6(時間/回) × 1(回/週) × 18(週)	
Fall Semester	日本戲劇導讀 與多媒體上	28.8 時間	講義は木曜日にある。台湾大学日文科の伝統にもなっている毎年行われる台湾学生のみ日本語劇公演にむけて一年かけて準備していく。作品・脚本・衣装・舞台セットはもちろん、公演場所・日時・ポスター・スポンサー依頼等制作作業は全て生徒のみで行われる。日本人留学生は台湾生徒の台本読みの練習やイントネーションを直したり、スポンサー依頼や実際にスポンサー会社へ挨拶をしに行ったりと公演サポートをしていく。授業時間では役者グループと舞台に向けての制作グループとで分かれる。役者グループは実際舞台に立つ台湾人生徒のために日本語アクセントやリズムに注意しながら日本人生徒がセリフを録音し、提出する。また台湾人生徒にはわかりづらい日本語の言い回しについて話し合い説明する。
		1.6(時間/回) × 1(回/週) × 18(回/週)	

1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

一年を通し感じたことは日本と違い先生の話していることを聞いているだけの講義は少なく、グループワークが多かったので話す力・聞く力はもちろん自分の考えをまとめられる言語力が必要だなと思った。その為、曖昧なものをそのままにしたりせずその場で先生や生徒に聞くことを心掛けていた。また中国語に触れている時間を多くしたかったため、中国語の授業を毎日入れたことで毎回出される課題が予習復習を促してくれていたのが自分にとっても合っていた時間割だったと感じる。予習復習するにあたり中日翻訳の辞書で一度調べてから二度目は電子辞書やネットで中国語での辞書を使うことでより深く理解できたように思う。

1.4. 語学力について

個人的にプレゼンテーションが自分の言語力を上げた大きなきっかけだったと感じる。留学前は自信がなかったことから声から緊張が伝わってしまったり、緊張からうまく話すことができなかつたりしていたためプレゼンテーション自体に苦手意識を持ってしまっていたが、留学中は「できなくて当たり前」「緊張して当たり前」という気持ちで精一杯準備し臨んだことで緊張が和らぎ、回数を重ねるたびに理想のプレゼンテーションができるようになったと感じる。授業によって台本を持ち込んでいいものと暗記を義務付けられるものがあったが自主的に全て暗記して臨むことで自信にも繋がり、言語力も上がったと感じる。声に出して何度も読み上げて練習することが結果的に暗記という形になっていたと思っている。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

教科書の内容や配られたプリントの内容を理解するのはもちろん、それを理解した上で違う疑問が出てこないかを先生たちは大事にしていると感じる場面が多かった。なので必然的に予習や復習はしたいと思える環境であったし、教科書には載っていないものを授業で先生や他のクラスメイトと共有し一緒に学んでいける環境がとても良かったと感じる。今後も先生に教えられるばかりでなく自分で考えて発信していける力を培いたいと思っている。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

一年間ずっと繁体字で勉強してきたので大学に入ってから学んだ簡体字の簡単な漢字でさえも忘れてしまったように感じる。そのため繁体字で中国語を学ぶのと同時に簡体字のことも常に頭に入れておいたほうが良いなと思った。

2.3. 留学生活で得られたもの

母国語以外の言語を使って会話をする時、間違えていたら恥ずかしいという思いから声が小さくなるのはもったいないと感じる。わからないものは聞いて学べばいいし母語話者じゃない人が間違えるのは当たり前のことなので、言語力を伸ばしたいのであれば積極的に中国語を使って会話し、行動していけば必ず充実した留学生活になるのではないかなと感じる。

2.4. 留學生活での反省点ならびに留學志望者へ生活面のアドバイス

留學当初は話せないもどかしさだけでなく、思っていたのと違う生活が苦に感じることもあるかもしれないが割り切ることも大切だなと一年間留學して感じている。また、留學に来ている人全員が同じ目的で来ているわけではないことも面白いと感じる部分だった。旅行として来ている人や仕事をしたくなくて留學を選んだ人、繁体字がきれいだと感じて台湾に漢字を学びにきた人、台湾の文化や生活を感じたくて留學している人、色々なバックグラウンドを持つ人と知り合い会話していくことで自分の留學生活は充実したものになったのかなと感じる。台湾に留學に行っているからには美味しいものを沢山食べるのも醍醐味だが、体調を崩した時になにを食べるべきか迷ってしまわないように健康に気を使った食探しも大事だなと思う。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2020年2月11日

所 属	外国語学部 () 研究科	中国語学科・専攻	3 年次
派遣先大学	国立台湾大学		12 ヶ月間

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input checked="" type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	住居形態の詳細を教えてください。	(一人部屋)
3	入居時手続き	(デポジットを払い、寮で鍵を受け取る)
4	費用 (月額)	7400 (台幣) (食費含まない/月)
5	支払方法	郵便局
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input type="checkbox"/> トイレ(共同) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(個別) <input type="checkbox"/> シャワー(共同) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ()
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ()
8	周囲環境	(大学付近なのでスーパーや飲食店は豊富)
9	アクセス	(大学から近く歩いて 20 分。)
10	留学中の住居に関して アドバイス	(毛玉のできやすい服は持っていかないように)
11	引越された方は引越 し先の住居形態を記入 ください。	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
12	詳細を教えてください	()

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参しなかった
2	現地キャリアの携帯電話	現地で SIM カードを購入

3	現地携帯電話の取得手続きの方法	(携帯ショップに直接行く)
4	自宅のインターネット接続環境	利用しなかった
5	大学内インターネット接続環境	無線 (大学または寮への LAN 接続)

III. 留学費用について

諸経費 (1ヶ月の平均)		
1	宿舍費	7400 (台幣) /月
2	食費	5500 (台幣) /月
3	交通費	1000 (台幣) /月
4	通信費	500 (台幣) /月
5	娯楽費	2000 (台幣) /月
6	図書費	0 (台幣) /合計
7	学用品 (教科書など)	2000 (台幣) /合計
8	被服費	500 (台幣) /合計
9	医療費	2000 (台幣) /合計
10	雑費・その他	1000 (台幣) /合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳 (留学準備期間含む)		
11	出願料・宿舍デポジット	14000 (台幣) /合計
12	ビザ申請関連費	2500 (台幣) /合計
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	30000 (台幣) /往復
14	その他	(台幣) /合計
15	留学全日程に要した総額 (概算)	68400 (台幣) /合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 (渡航時 : 30000 円) <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード (銀行名 : 三菱東京 UFJ 銀行) <input checked="" type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他 ()	
17	現地で銀行口座開設	してない
18	手続き方法・利点・欠点	
19	お金に関するアドバイス	空港で両替するべし

IV. 保険・医療について

1	海外旅行 (留学) 保険の種類	D19
---	-----------------	-----

		(12 か月分で 12 万円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	いいえ
3	日本から持参した方が良かったなと思う薬などがありますか？理由はなんですか？	イブクイック頭痛薬

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの
	洋服・靴・ドライヤー・リュック・筆記用具・化粧品
2	現地で購入したもの
	洋服・靴・化粧品
3	(自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの
	特になし

VI. 留学先で困ったこと

特になし

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

現地で購入したほうが安いことが多いのでなるべく持っていく物は減らして行きましょう。